

11月9日（水） 第2回街頭啓発およびカーブミラー清掃

一宮町交通安全対策協議会で、毎月10日のアクション10（交通安全の日）の近日に第2回街頭啓発およびカーブミラー清掃を行いました。

【都市環境課 片山 師斉】



▲街頭啓発実施の様子

11月12日（土） 上総一宮児童作品展

中央公民館にてMOA美術館・一宮町文化協会・上総一宮児童作品展実行委員会主催で実施された上総一宮児童作品展の表彰式が開催されました。

今年で5回目を迎えた本作品展では、小学校の子どもたちから、絵画、書道合わせて398点の作品が寄せられ、36人の子どもたちの作品が入賞しました。11月1日から13日まで中央公民館のロビーで入賞作品が展示されました。

【教育課 江澤 一樹】



▲馬淵町長あいさつ

11月13日(日) シンポジウム「上総広常とその時代」

いすみ市大原文化センターにてシンポジウム「上総広常とその時代 - 中世の東上総をさぐる -」が開催されました。

このシンポジウムはいすみ市教育委員会主催、一宮町教育委員会・睦沢町教育委員会共催のもので、令和4年度、3市町を中心に推進している「上総広常広域連携事業」の一環として実施されました。

2022年のNHK大河ドラマに上総広常が登場したことから、注目を集めている郷土の偉人、ということもあり、県内外から定員を大きく越える約350人が参加しました。

馬淵町長、竹之内教育長も出席し、基調講演を行った京都女子大学名誉教授の野口実氏をはじめとする専門家の方々の講演を拝聴しました。

【教育課 江澤 一樹】

シンポジウム
**上総広常と
その時代**
—中世の東上総をさぐる—

募集人数
300名(事前申込制)
参加無料

記念講演 | 広常を生んだ中世の東上総
野口 実氏 (京都女子大学名誉教授)

講演① | 上総介広常の二次史料をどう読むか
岩橋直樹氏 (埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸員)

講演② | 和田合戦と上総ゆかりの武士たち
山本みなみ氏 (鎌倉歴史文化交流館 学芸員)

司会 外山信司氏 (千葉市立郷土博物館 総務主任研究員)

2022. 11月13日(日)
(開催時間 13時~17時 (開場12時30分))

会場 いすみ市大原文化センター ホール
(いすみ市大原7838)

申込先 いすみ市郷土資料館 電話 0470-86-3708
主催: いすみ市教育委員会/共催: 一宮町教育委員会・睦沢町教育委員会

JR外房線・いすみ鉄道大原駅下車徒歩10分

11月14日（月） 上総十二社祭り保存会会長来訪

上総十二社祭り保存会の森田一範会長が来訪されました。

去る11月1日、令和4年度千葉県教育功労者表彰が行われ、上総十二社祭り保存会が長年の活動の功績をたたえられ、表彰されたことを受け、報告のためご来訪いただきました。

【教育課 江澤 一樹】



▲左から大場副町長、馬淵町長、森田会長、竹之内教育長

11月14日（月） 生物多様性について学ぶ研修会

「生物多様性について学ぶ研修会」に参加しました。

本町では令和4年度スタートした「第2期一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に重点戦略の取組策として「生物多様性戦略の策定」を掲げています。

戦略の策定を進めるうえで、まず「生物多様性」とはどういったことなのかを、本町の職員が自覚し、情報共有することが重要であることから、この研修会を開催しました。

研修会は、生物多様性の第一人者である筑波大学大学院教授の吉田先生を講師として、21人の職員が参加し、約90分にわたりわかりやすい説明をいただきました。

令和5年度からの、「一宮町生物文化多様性計画」の策定に向けて、有意義な研修会となりました。

【企画広報課長 渡邊高明】



▲（正面左）馬淵町長、（正面右）吉田教授

11月18日（金） 社会保障の充実を求める自治体要請キャラバン

社会保障の充実を求める自治体要請キャラバンの訪問があり、要望書に対して町が事前に回答した回答書についての懇談を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症対策として参加人数の縮小と懇談の項目を絞って行いました。

【福祉健康課 荒山 敏寛】



▲懇談の様子

11月19日（土） 一宮町の豊かな自然と文化を次の世代に伝えよう

中央公民館にて、一宮町森里川海共生ネットワーク主催による報告会「一宮町の豊かな自然と文化を次の世代に伝えよう」が開催されました。一宮町森里川海共生ネットワークとは、一宮町で自然保護活動をしている3つの団体（憩いの森を育む会、一宮ネイチャークラブ、一宮ウミガメを見守る会）のネットワークです。

今回の報告会では、同ネットワークでこれまで行ってきた7回のウォーキングの報告に加え、参加者の方々と一宮町の豊かな自然と文化について話す場となりました。

約50人が参加され、それぞれの町に対する熱い気持ちが伝わる会となりました。

【教育課 江澤 一樹】



▲馬淵町長のコメントの様子

11月24日（木） 新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出

長生郡市7市町村を代表して、長南町平野町長と千葉県庁を訪問し「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を提出しました。

内容は、医療機関への検査・受診者の集中緩和対策として、「県による抗原定性検査キット配布事業」を再開していただくこと、また、症状が軽く、65歳未満で基礎疾患がないなど重症化リスクの低い方については、医療機関での検査・受診に代わる検査へと確実に分散化が図られる対策に努めることを要望しました。

千葉県健康福祉部長からは「要望内容をしっかりと受け止めて検討したなかで対応していきたい」というお話をいただき、12月5日から「県による抗原定性検査キット配布事業」を再開していただくことができました。

【福祉健康課 園岡久美】



▲要望書提出の様子

11月26日(土) 「メモリアルアート事業」壁画設置

釣ヶ崎海岸施設「ステラ釣ヶ崎」の壁面に飾る絵画を一般社団法人千葉県塗装工業会の皆さんに取付けていただきました。

この絵画は、東京2020オリンピック競技大会が無観客での開催になり、サーフィン競技の学校観戦が叶わなかった町内の児童・生徒の皆さんに制作を依頼したものです。

一般社団法人千葉県塗装工業会の皆さんには、絵画の取付け以外にも駐車場付近の砂撤去もしていただき感謝申し上げます。

このレガシーを今後も残していけるよう努力していきたいと思います。

【企画広報課 宮本 南海子】



▲絵画取付け完成



▲清掃作業の様子



▲一般社団法人千葉県塗装工業会の皆さんとの集合写真

11月29日（火） 「長生郡市の医療をよくする会」との懇談会

「長生郡市の医療をよくする会」後藤英輝代表をはじめとするメンバー5人の訪問があり、事前に提出のあった要望書について懇談しました。

公立長生病院の機能を維持・充実し、医師と看護師不足の解消、長生郡市の24時間救急医療体制、千葉県循環器病センターの充実を県に要請、東千葉メディカルセンターは、県が責任を持ち役割を果たしてほしいなどのご意見を伺いました。

いただいたご意見に異論はなく、一緒に考えていきたいと思えます。

【福祉健康課 緑川あゆみ】



▲懇談会の様子